

福島県実施状況報告書及び評価報告書

2. 整備事業

市町村名	事業実施主体名	メニュー (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①							成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業の効果	事業実施後の課題及び改善方策	事業実施主体の評価	市町村の評価	都県の評価	利用量利用率 ※2	収支差 収支率 累積赤字 ※2
				被災前 22年度	1年後 (平成 30年)	2年後 (令和 元年)	3年後 (令和2 年)	4年後 (令和3 年)	5年後 (令和4 年)	目標値 (令和4 年)				達成率	交付金	都県費	市町村費								
西郷村	雪割牧場(有)	畜産物共同利用施設整備 対象畜種:乳用牛・生乳	【経産牛飼養】 500頭 【生乳生産】 4,508t	(H28年度) 【経産牛飼養】 283頭 【生乳生産】 2,492t								313,200,000	138,110,000	89,771,000	0	85,319,000	H31.3.18	飼養頭数及び生乳生産量の拡大が図られた。	頭数は達成したが、生乳生産は増頭計画、初妊牛が多かったことや飼料費高騰による飼料設計の見直し等抑制気味であったが拡大を図っていく。	飼養頭数目標は達成できた。生乳生産量はわずかに目標に達しなかったが概ね達成した。生乳生産量が目標に達しなかった要因としては、経産牛頭数が500頭に達したのが、目標年度の途中であったため、生乳生産量がわずかに目標に達しなかった。また、飼料価格高騰の影響により、抑制的な飼料設計となったことも一因と考えられる。今後、搾乳牛500頭で生産することで年間の生乳生産量も目標を達成する見込みである。また、飼料設計の見直しを進めて、生産量を増加させていく考えである。	経産牛飼養頭数は目標の500頭を達成し、生乳生産量も概ね達成された。	経産牛飼養頭数は目標が達成され、生乳生産量は目標が概ね達成された。県としても、目標達成率が100%となるよう飼養頭数の維持・拡大について指導及び助言を行いながら、営農活動の回復を支援していく。	【経産牛飼養】 101% 【生乳生産】 96%	【収支差】 444.53 8(黒字)【収支率】 100.1%	
				(H29年度) 【経産牛飼養】 290頭 【生乳生産】 2,553t	【経産牛飼養】 238頭 【生乳生産】 2,183t	【経産牛飼養】 270頭 【生乳生産】 2,160t	【経産牛飼養】 400頭 【生乳生産】 2,905t	【経産牛飼養】 460頭 【生乳生産】 3,918t	【経産牛飼養】 503頭 【生乳生産】 4,312t	【経産牛飼養】 500頭 【生乳生産】 4,508t	101%														96%